

R5年度 事業名	工場立地助成事業
R4年度 事業名	工場立地助成事業

総合戦略 体系	131	魅力ある雇用の創出	若者に魅力ある働く場の確保	企業立地の推進
------------	-----	-----------	---------------	---------

PLAN (計画)	部署名	商工観光課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	企業立地に対する優遇制度を整備し、県内外の優良企業の市内への立地を促進する。				
	概要	用地取得、工場等の建設等に対し、その経費の一部を助成することで、市内企業の流出防止と県内外の優良企業の市内への立地を促進する。				
法令等 根拠		実施 形態	内容			
現在	補助金等交付					

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	誘致活動(企業訪問)	回	目標値	50	50	50	50	50
			実績値	50	50	50		
	誘致活動(市内宅建協会金融機関等との意見・情報交換)	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	2		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	誘致企業数	件	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	4	2		
	計算 根拠	市の助成を受けて市内に誘致された企業および市内企業の増設数	達成率	100	400	200		
			実数値					
			ランク	A	A	A		
	前年度 ランク B、Cの 理由							

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	96,095	71,915	135,011	128,180	83,004		事業タイプ	単独事業
	決算額	59,530	65,662	97,410	57,447			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	7	1	2	610	工場立地助成金	83,004	83,004	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	83,004

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計 点数	9
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	引き続き用地取得、工場などの建設などにかかる経費の一部を助成することで、市内企業の高度化に寄与するとともに、市外優良企業の市内立地を促進する。
来年度の実績	R4年度 企業2社の工場・事務所市内立地申請あり
R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	これまでの実績から市内企業の成長に伴う、工場等の増設案件が多いため、中小企業が利用しやすい、現在の制度を継続。
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	空き地、空き工場等の情報整理を進めることで、工場適地の情報提供を的確に行う。
R6方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	街なか賑わいづくり振興事業			
R4年度 事業名	街なか賑わいづくり振興事業			
総合戦略 体系	263	若者が住みたくなるまちの創造	地域資源を活かす観光の推進	街なか観光の推進

PLAN (計画)	部署名	商工観光課	開始年度	2008	終了年度	9999
	目的	中心市街地の活性化および事業者の人材育成と経営者の意識改革や商店街等各種商業団体の育成を図るとともに、本市が進めるSDGsの普及を推進する。				
	概要	賑わい・憩い・癒しにあふれる個性と特徴のある街づくりのため、街なかの賑わいを創出し、事業者の人材育成、経営者の意識改革の促進、各種商業団体の活性化や周辺商業の振興を図るために商店街の活性化やイメージアップにかかる事業に対する支援を行う。				
法令等 根拠		実施 形態	内容 商店街等各種商業団体に対して補助金等交付事務ならびに進捗管理業務			
現在	補助金等交付					

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	商業者自らが提案し取り組む活性化事業数	事業	目標値	1	1	1	1	1	
			実績値	1	1	1			
	計算 根拠	商業者からの新規提案事業数	達成率	100	100	100			
			実数値						
		ランク	A	A	A				
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	6,166	4,428	4,476	4,332	3,900		事業タイプ	単独事業
	決算額	6,040	1,952	2,017	2,575			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	7	1	2	205	街なか賑わいづくり振興事業費	5,500	3,900	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	3,900

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.25
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	10
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒	維持
取組内容	商店街対象の事業では、団体が数年に渡って実施してきた事業を整理し、収益性を高めて自走できる仕組みづくりを検討する。補助にあたってはその経済的な効果目標を明確に数値化し、補助の妥当性を確認しつつ、今後の事業の自走化への試金石としていく。	
来年度へ向けて	<p>R4年度の実績 (商店街対象事業) 商店会等賑わい創出・販売促進事業補助金に関して、コロナウイルスの影響により、イベント等は軒並み中止を余儀なくされた。その中でコロナ禍においても感染防止対策を行った上でイベントを実施した6団体に補助を実施した。</p> <p>R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 (商店街対象事業) 集客を目的とする賑わい創出企画の支援が主だったものであるため、コロナ影響下では企画開催日直前に延期・中止の判断を求められる場面があり、実施計画が立てづらい。 (商業者対象事業) 空き店舗対策としてテナント誘致が必要であるが、利用目的によっては建築基準法や消防法の規制により改修費が高騰する場面があり、利用が限定される。</p> <p>実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 (商店街対象事業) 団体へのイベント等への支援として、期待される効果を明確にすることで、将来的には各団体の企画が自主開催できるよう促す。 (商業者対象事業) 空き物件の整理を行うことで、所有者と利用希望者とのマッチングを図ることで市街地の活性化を目指す。</p>	
	R6方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	ものづくり振興交付金事業
R4年度 事業名	ものづくり振興交付金事業

総合戦略 体系	111	魅力ある雇用の創出	地場産業の技術を活かした新産業の創造	企業の経営基盤強化
------------	-----	-----------	--------------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	商工観光課		開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	地場産業団体等が行う産地の存続発展や活性化を目指す先見性のあるものづくり事業、それを支える人づくり事業や市場開拓事業および時代に適応した企業等の経営の合理化、技術の高度化、情報化、グローバル化への対応や消費者との交流活発化などを推進する事業を支援することを通じ、地場産業等の振興に資する。					
	概要	（一社）福井県眼鏡協会、（協）鯖江市繊維協会、越前漆器協同組合に対し、産地の存続発展や活性化を目指す先見性のあるものづくり事業、それを支える人づくり事業や市場開拓事業および時代に適応した企業等の経営の合理化、技術の高度化、情報化、グローバル化への対応や消費者との交流活発化などを推進する事業を支援することで、地場産業等の振興に資する。					
	法令等 根拠	なし	実施 形態	内容 眼鏡・繊維・漆器の業界団体への交付金で、各団体はこれを財源の一部として産地振興事業を行う。			
現在	補助金等交付						

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	ものづくり振興交付金を活用した展示会出展企業数		社	目標値	150	150	150	150	150
				実績値	74	69	111		
	計算 根拠	眼鏡(ミド、シルモ、上海、北京、IOFT等)106社、漆器(ギフトショー、ホテルレストランショー等)5社、繊維(ものづくり博覧会等)		達成率	49.3	46	74		
				実数値					
			ランク	C	C	C			
前年度 ランク B、Cの 理由	コロナ禍により販路拡大事業を縮小して実施								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	40,240	23,115	36,200	46,900	37,100		事業タイプ	単独事業
	決算額	40,240	20,869	34,388	46,519			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	7	1	2	606	ものづくり振興交付金	40,100	37,100	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	37,100

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.5
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)  
 増加する見込み  横ばい  減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)  ない  ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)  ない  ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
9	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)  節減できている  横ばい  増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない)  いる  いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)  いる  いない

成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)  
 目標を達成できている  進展している  目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒

取組内容 地場産業団体等が行う産地の存続発展や活性化を目指す各事業を支援することで地場産業の振興に資する。

来年度へ向けて R4年度の実績 各業界団体が行った地場産業振興の取組みに支援した。コロナ禍の影響により各産地組合とも、販路開拓事業については規模を縮小した事業実施となった。

R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題  
 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、消費者の買い控えや展示会・商談会の中止に起因する物流の停滞が起こり、休業や事業縮小を余儀なくされた事業所が多く発生した。  
 ・眼鏡協会は、市が開設支援したアンテナショップ2店舗の売上が伸びており、ある程度の自主自立も可能に。

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点  
 産業等によるサプライチェーンの分断などで産地内分業に支障が生じ、産地全体が弱体化してしまうことを防ぐためにも、消費喚起や経済活動の維持を目的とした地場産業振興の取組みへの支援は必要である。一方で、対象事業の見直しが必要なほか、とりわけ眼鏡協会は自主財源確保も進んでいることから予算減額について交渉する。

R6方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名

R6年度事業名

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	漆芸品保存事業
R4年度 事業名	漆芸品保存事業

総合戦略 体系	261	若者が住みたくなるまちの創造	地域資源を活かす観光の推進	産業観光の充実
------------	-----	----------------	---------------	---------

PLAN (計画)	部署名	商工観光課	開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	越前漆器展覧会市長賞作品を購入・保存するとともに、越前漆器伝統産業会館において作品を展示し、来場者に対して越前漆器のよさをPRする。				
	概要	後世に残すべき貴重な漆芸品を収集・保存し技術・技法の継承に努めるとともに、越前漆器伝統産業会館等において展示し来場者への閲覧に供することで越前漆器の持つ伝統・技術・技法を通してその良さをPRする。				
法令等 根拠	なし	実施 形態	内容	新作の発表会である越前漆器展覧会において出品された、秀逸な作品を購入し、越前漆器の保存に努め技術・技法の伝承に努めるとともに、越前漆器伝統産業会館で展示し、越前漆器の素晴らしさをアピールする。		
現在	市直営					

活動指標								
指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
保存件数(毎年)		件	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
計算 根拠			達成率	100	100	100		
			実数値					
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	270	270	250	250	250		事業タイプ	単独事業
	決算額	153	183	250	183			経費区分	物件費

No	款	項	目	事業	R5年度事業名		
					予算書額	うち事業額(千円)	
1	7	1	6	201 伝統産業会館管理費	28,153	250	
2							
3							
4							
5以降							
						合計	250

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	16

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	11
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒	維持
取組内容	年1回の新作発表会である越前漆器展覧会に出品された秀逸な作品(鯖江市長賞)を購入・保存し、その伝統的技術、技法をアーカイブすることで、越前漆器の伝承に努める。 また作品の評価には技術力以外に、市場性も含まれていることから、各年の好まれる作品傾向の資料としても価値があり、引き続き産業資料として保存していく。 合わせて、越前漆器をPRし、漆器ファンを増やすため、市長賞となった秀逸な作品をイベント等で展示し、多くの方に鑑賞してもらおう。
来年度の実績	越前漆器展覧会伝統的工芸品部門での鯖江市長賞を購入。
R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	購入した作品の有効活用、越前漆器を効果的にPRするための展示イベントの選定
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	越前漆器協同組合と協議し、購入以外の方向を検討する。
R6方向性⇒	維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	勤労者生活安定資金融資事業
R4年度 事業名	勤労者生活安定資金融資事業

総合戦略 体系	122	魅力ある雇用の創出	既存産業の高度化	企業の経営基盤強化(再掲)
------------	-----	-----------	----------	---------------

PLAN (計画)	部署名	商工観光課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	勤労者の生活安定と福祉の向上を支援するため、低利子融資による負担軽減を図る。				
	概要	生活安定のために資金を必要とする勤労者に対し、金融機関と協調して低利子融資を行う。(単年度預託)				
	法令等 根拠		実施 形態	内容	市は預託を実施し、融資は金融機関が直接行う。	
現在	その他					

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	広報紙等への掲載	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	2	2		
	制度内容のチラシ配布(金融機関窓口)	部	目標値	300	300	300	300	1,000
			実績値	1,000	1,000	1,000		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	融資実行率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
計算 根拠	融資実行数/融資申請数	達成率	100	100	100			
		実数値	30/30	26/26	36/36			
		ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	48,041	34,413	34,413	34,410	22,101		事業タイプ	単独事業
	決算額	48,041	34,413	34,413	34,410			経費区分	貸付金

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	5	1	1	605	労働者生活安定資金等預託金	22,101	22,101	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	22,101

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.05
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	10
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	労働者の継続的な生活安定のため、引き続き、金融機関と協調して労働者に対し低利子融資を行うことで負担軽減を図る。
来年度の実績	R4年度 36件、32,520千円の融資が行われた。
R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	労働者の生活安定は労働行政の根幹であり、市民の福利厚生に必要な事業である。
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	市内金融機関窓口10店舗にて周知する。
R6方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	未組織動労者信用保証料補給支援事業
R4年度 事業名	未組織動労者信用保証料補給支援事業

総合戦略 体系	122	魅力ある雇用の創出	既存産業の高度化	企業の経営基盤強化(再掲)
------------	-----	-----------	----------	---------------

PLAN (計画)	部署名	商工観光課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	組合未組織動労者の融資利用時の負担を軽減し、生活の安定に資する。				
	概要	福井県労働者信用基金協会の信用保証を付して北陸労働金庫の融資を受けた未組織動労者に対して信用保証料の1/2相当額を補給する。ただし、次の範囲を限度とする。 融資実行から5年以内。融資限度額(1)生活資金150万(2)福祉資金300万(3)住宅資金500万				
法令等 根拠		実施 形態	内容			
現在	市直営					

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	保証料補給実行率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	0	100		
	計算 根拠	保証料補給実行数/保証料補給申請数	達成率	100	0	100			
			実数値	3/3	0/0	3/3			
		ランク	A	-	A				
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	380	380	100	100	50		事業タイプ	単独事業
	決算額	45	10	0	41			経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	5	1	1	604	労働者等融資利子等補給事業費	100	50
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	50

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1		
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	0

事業要員	正規職員	0.05
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

行政が実施すべき事業か。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

住民等のニーズは増えているか。  
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)  
 増加する見込み  横ばい  減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
9	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)  
 節減できている  横ばい  増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

成果は目標を達成できているか。  
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)  
 目標を達成できている  進展している  目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒

取組内容 労働組合に加入していない労働者(未組織労働者)が北陸労働金庫の融資を受ける際の信用保証料の一部を補給する。昨年度はコロナ禍の影響によりマイカー購入、住宅への投資といった融資利用の鈍化が見られてきたが、生活環境の改善により、利用回復が想定される。未組織労働者の生活安定を目的に、引き続き事業を継続する。

来年度の実績 R4年度 未組織労働者保証料補給対象者3件であった。

R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 R4年度の未組織労働者保証料補給対象者は3件であり、未組織労働者の生活安定のために必要な事業である。

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 電力・ガス・食料品等価格高騰による影響もあり、未組織労働者の生活安定のために必要な事業である。

R6方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民主役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名

R6年度事業名

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	鯖江市家内労働指導センター運営補助事業
R4年度 事業名	鯖江市家内労働指導センター運営補助事業

総合戦略 体系	142	魅力ある雇用の創出	女性が輝くまちの創造	女性の活躍支援
------------	-----	-----------	------------	---------

PLAN (計画)	部署名	商工観光課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	家庭外での就労が困難な人への内職斡旋・相談や技術指導などの充実を図る。				
	概要	家内労働指導センターが行う内職斡旋・相談および技術指導事業等に対し、事業実績を審査し補助金を交付する。				
法令等 根拠		実施 形態	内容			
現在	補助金等交付					

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	※設定困難		目標値					
			実績値					
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	受注件数	件	目標値	166	160	160	160	160
			実績値	144	150	147		
	計算 根拠	過去3年間平均166件を参考に設定(H30~)	達成率	86.7	93.8	91.9		
			実数値					
		ランク	B	B	B			
前年度 ランク B、Cの 理由	一定の内職希望者がいるが、仕事量は景気に左右される。							

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,000	1,000	900	1,000	1,000		事業タイプ	単独事業
	決算額	1,000	1,000	900	1,000	1,000		経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	5	1	1	601	家内労働指導センター補助金	1,000	1,000	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	1,000

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	30

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	9
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	家屋外での就労が困難な人への内職幹旋・相談や技術指導など充実を図る。受注増を目的とした広報を2回行い、引き続き、支援継続をする。
来年度へ向けて	R4年度の実績 前年度に比べ、就労人員は428人と増加したが、受託件数147件とわずかに減少し、目標値にまで達しなかった。
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 一定の内職希望者がいるが、仕事量は景気に左右される。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 多様な働き方改革や女性活躍の推進にあわせた取組みを検討していく。
	R6方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	労働環境向上支援事業
R4年度 事業名	労働環境向上支援事業

総合戦略 体系	122	魅力ある雇用の創出	既存産業の高度化	企業の経営基盤強化(再掲)
------------	-----	-----------	----------	---------------

PLAN (計画)	部署名	商工観光課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	市内事業所の労働環境の改善など労働者の権利維持など、労働環境向上に向けた取組みに対して、支援援助を行う。				
	概要	市内事業所の異業種交流を通して、労働者の労働環境向上に向けた取組に対し、事業実績を審査し補助金を交付する。				
法令等 根拠		実施 形態	内容			
現在	補助金等交付					

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	※設定困難		目標値					
			実績値					
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	メーデー参加者数	人	目標値	2,000	1,500	1,500	1,500	1,500
			実績値	-	451	463		
	計算 根拠	平成29年度からカウント形式が変わったため、メーデー参加人数に変更	達成率	-	30	30.9		
			実数値					
		ランク	-	C	C			
前年度 ランク B、Cの 理由	オンラインを含むハイブリッド開催をするなど集客を縮小した実施となったため。							

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	500	500	250	250	200		事業タイ	単独事業
	決算額	500	500	250	0			経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	5	1	1	602	労働環境向上事業補助金	200	200
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	200

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1		
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	30

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	9
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止 維持または事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
	成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	市内事業所の労働環境の改善など労働者の権利を維持するための法的に行われる、組織強化活動事業に対して、支援援助を行う。 ・事業所の労働環境の改善 ・労働者の教育、文化、その他の福祉活動等の支援
来年度へ向けて	R4年度の実績 連合福井丹南地域協議会へ事業補助を行う予定であったが、事業の実施がなかった。メーデーについては、オンラインを含むハイブリッド開催をするなど集客を縮小した実施となった。 R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 連合福井丹南地域協議会の活動に対する補助額の妥当性を踏まえ、事業補助としての仕立て直しを行った。 ※県内自治体で連合に活動補助金を出している自治体は本市を含め3市のみ(越前市50万円、敦賀市20万円(地域行事・商店街イベントへの条件)、※福井市、大野市、勝山市では以前は補助していたが数年前に廃止。 実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 市内労働者の労働環境向上に繋がる事業に対する支援を実施する。 R6方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	<input type="text" value="市民役事業にかかる額(単位千円):"/>	<input type="text" value="0"/>
R6年度事業名	<input type="text" value="市民役事業にかかる額(単位千円):"/>	<input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	鯖江市シルバー人材センター運営補助事業
R4年度 事業名	鯖江市シルバー人材センター運営補助事業

総合戦略 体系	334	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	高齢者・シニアの雇用対策
------------	-----	-------------	--------------	--------------

PLAN (計画)	部署名	商工観光課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	高齢者の就業機会の確保と就業情報の提供を行う鯖江市シルバー人材センターの運営および事業に対して支援・援助を実施し、高齢者の働く環境づくりを推進する。				
	概要	高齢者の働く生きがいづくりを推進する鯖江市シルバー人材センターの運営および各種事業（高齢者の就業機会の確保・情報提供事業、学童保育の実施等）に対し、補助金を交付する。				
	法令等 根拠	高齢者等の雇用の安定等に関する法律	実施 形態	内容		
現在	補助金等交付					

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	※設定困難		目標値					
			実績値					
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	シルバー人材センター会員数	人	目標値	608	580	540	525	540
			実績値	552	514	509		
	計算 根拠	22年実績の年3%増加を目指す	達成率	90.8	88.6	94.3		
			実数値					
		ランク	B	B	B			
前年度 ランク B、Cの 理由	高齢者の就業機会の増大に伴い、会員数が減少傾向である							

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	10,450	10,450	11,380	12,590	12,600		事業タイプ	単独事業
	決算額	10,450	10,450	11,380	12,590			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	5	1	1	603	鯖江市シルバー人材センター補助金	12,600	12,600	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	12,600

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	50

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	9
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">維持</span>
取組内容	鯖江市シルバー人材センターが行う高齢者の就業機会の確保・情報提供事業、学童保育の実施等に対し、補助金を交付する。更に会員数増強や女性会員増を目的に市広報での告知を年2回行う。
来年度の実績	R4年度実績 受託件数4,111件で前年度より98件の減少。
R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	会員数、受託件数の増加
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	高齢者の就業機会の増大に伴い、会員数の減少傾向は続くと思定されるが、シルバーセンター事業PRにより会員確保に注力する。
R6方向性⇒	<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">維持</span>
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	中小企業振興資金等融資事業
R4年度 事業名	中小企業振興資金等融資事業

総合戦略 体系	111	魅力ある雇用の創出	地場産業の技術を活かした新産業の創造	企業の経営基盤強化
------------	-----	-----------	--------------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	商工観光課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	市内中小企業等に対し資金需要の円滑化と経営健全化に必要な資金の融資を行うことにより中小企業等の事業振興を図る。				
	概要	金融機関と協調することで資金需要の円滑化と経営健全化のために資金を必要とする中小企業等に低利子融資を行う。(前年度12月末金融機関別融資残高により預託)				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	その他		市は預託を実施し、金融機関と協調して低利子融資を行う。融資申込書を市で受付し、金融機関が直接融資を行う。			

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	金融機関との打合せ会議	回	目標値	2	2	2	2	2	
			実績値	1	1	2			
	広報紙等への掲載	回	目標値	3	3	3	3	3	
			実績値	3	3	3			
	制度内容のチラシ配布(金融機関窓口)	枚	目標値	500	500	500	500	500	
			実績値	1,000	1,000	1,000			
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	融資実行率	%	目標値	100	100	100	100	100	
			実績値	100	100	100			
	計算 根拠	融資実行数/融資申請数	達成率	100	100	100			
			実数値	48/48	77/77	78/78			
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	564,957	495,737	0	0	265,795		事業タイプ	単独事業
	決算額	564,957	495,737	0	0			経費区分	貸付金

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	7	1	2	701	中小企業資金等預託金	269,553	265,795	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	265,795

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	1
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

行政が実施すべき事業か。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

住民等のニーズは増えているか。  
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)  
 増加する見込み  横ばい  減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
10	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)  
 節減できている  横ばい  増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

成果は目標を達成できているか。  
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)  
 目標を達成できている  進展している  目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒

取組内容 R5年度 制度融資の利用状況は昨年度に比べ僅かに増加しているが、新型コロナウイルスや原油高などの影響により変動がある。引き続き、市内中小企業の資金需要の円滑化と経営健全化のために、金融機関と協調することにより、中小企業に低利融資を行う。また、R3年度・令和4年度については預託額を0円としたが、今年度より預託を行う運びとなった。

来年度へ向けて R4年度の実績 R2年度の金融懇話会にて預託金がなくても制度融資が維持できるとの金融機関からの意見を受け、R3年度・令和4年度の預託額は0円となった。

R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題  
市の融資制度申込件数についてR3年度に比べ増加し78件であった。

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点  
制度融資の見直しについて、金融機関と随時協議。

R6方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名

R6年度事業名

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	小規模事業経営改善指導等事業補助金
R4年度 事業名	小規模事業経営改善指導等事業補助金

総合戦略 体系	111	魅力ある雇用の創出	地場産業の技術を活かした新産業の創造	企業の経営基盤強化
------------	-----	-----------	--------------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	商工観光課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	巡回や窓口を通じた相談・指導により市内小規模事業者の経営安定と経営革新を支援し、変化する時代に合った経営の基礎知識やノウハウ等の講習講演会の開催、各種法改正に伴う支援事業等を行うことで、市内商工業の振興を図る。				
	概要	鯖江商工会議所が行う小規模事業者への経営改善指導、経営や税務に関する巡回・窓口相談事業、経営者や幹部・新人教育に関する講習講演会の開催事業、中小企業経営相談所の運営等に関する費用に対し、補助金を交付する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	補助金等交付		鯖江商工会議所への補助金交付			

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	経営相談実施率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100		
	計算 根拠	相談実施件数/相談申込数	達成率	100	100	100			
			実数値	1,352/1,352	386/386	416/416			
		ランク	A	A	A				
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	10,300	10,300	9,270	8,343	8,000		事業タイプ	単独事業
	決算額	10,300	10,300	9,270	8,343			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	7	1	2	608	小規模事業者経営改善指導等補助金	8,200	8,000	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	8,000

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0
	会計年度職員	0
	※所要時間	30

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

行政が実施すべき事業か。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

住民等のニーズは増えているか。  
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)  
 増加する見込み  横ばい  減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
11	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)  
 節減できている  横ばい  増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

成果は目標を達成できているか。  
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)  
 目標を達成できている  進展している  目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒

取組内容 変動する経済活動に対応するために市内小規模事業者のニーズに対応した相談や経営改善指導セミナー等の開催および創業希望者へのセミナー、相談支援を強化することにより、引き続き、小規模事業者の経営安定および市内創業者数の増加を目指す。

来年度の実績 R4年度 経営指導員による指導を416回実施した。また、経営指導以外にも講習会、専門家による個別指導を307企業対象に実施した。

R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 新型コロナウイルス感染症の影響で、最大の課題となった販路開拓支援を中心に行った。

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 商工会議所に対する近隣自治体の補助金事例も研究した上で補助金額を段階的に見直し。(R4年度8,343千円→R5年度8,000千円)

R6方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名

R6年度事業名

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	中小企業利子等補給支援事業			
R4年度 事業名	中小企業利子等補給支援事業			
総合戦略 体系	111	魅力ある雇用の創出	地場産業の技術を活かした新産業の創造	企業の経営基盤強化

PLAN (計画)	部署名	商工観光課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	中小企業者への利子補給により融資返済の負担を軽減し、経営安定の支援を行う。				
	概要	中小企業を対象とした融資返済の負担を軽減するため、利子補給を行う。 ・中小企業振興資金および小規模企業経営改善資金(マル経資金)～融資実行から1年間、融資額500万円を限度に貸出利率の1%相当額を補給 ・小規模企業者特別資金～融資実行から3年間、利子補給融資額500万円を限度に貸出利率の1%相当額を補給				
法令等 根拠		実施 形態	内容			
現在	補助金等交付					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	融資件数		件	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	48	77	78		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	利子補給実行率		%	目標値	100	100	100	100	100
				実績値	100	100	100		
	計算 根拠	利子補給実行数/利子補給申請数		達成率	100	100	100		
				実数値	473/473	353/353	324/324		
		ランク	A	A	A				
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	22,100	49,500	58,000	48,000	16,300		事業タイプ	単独事業
	決算額	6,403	41,244	51,896	45,421			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	7	1	2	609	中小企業融資利子等補給事業費	22,300	16,300	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	16,300

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.3
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1ははい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1ははい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	10
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒	維持
取組内容	制度融資の利用状況は昨年度に比べ僅かに増加しているが、新型コロナウイルスや原油高などの影響により変動がある。引き続き、市内中小企業の資金需要の円滑化と経営健全化のために、金融機関と協調することにより、中小企業に低利融資を行うとともに、利子補給を行うことにより、融資返済負担の軽減支援を行う。
来年度へ向けて	R4年度実績 324件、45,421千円の利子補給を行った。 R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 市の融資制度申込件数についてR3年度に比べ増加し78件であった。返済開始後の各事業者の状況を注視するとともに、新たな資金需要に備え、本制度の必要性が増加する。 実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 新型コロナウイルスや原油高などの影響が続く中、市内中小企業の資金需要の円滑化と経営健全化のため、利子補給を行うことにより、融資返済負担の軽減支援を行う。 R6方向性⇒ 維持 CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	企業立地促進資金融資事業
R4年度 事業名	企業立地促進資金融資事業

総合戦略 体系	131	魅力ある雇用の創出	若者に魅力ある働く場の確保	企業立地の推進
------------	-----	-----------	---------------	---------

PLAN (計画)	部署名	商工観光課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	市内で活動する企業を増やし、産業の活性化に資する。				
	概要	金融機関と協調して鯖江市で製造業、ソフトウェア業または試験研究所を新たに整備しようとする中小企業に低利子融資を行う。(前年度12月末金融機関別融資残高により預託)				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	その他		市は預託を実施し、融資は金融機関が直接行う。			

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	金融機関との打合せ会議		回	目標値	2	2	2	2	2
				実績値	1	2	2		
	制度内容のチラシ配布(金融機関窓口)		部	目標値	500	500	500	500	1,000
				実績値	1,000	1,000	1,000		
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	融資実行率		件	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	-	-	-		
	計算 根拠	融資実行件数		達成率	-	-	-		
				実数値	0/0	0/0	0/0		
				ランク	-	-	-		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	会計	一般会計
	予算額	13,754	11,463	0	0	3,758	事業タイプ	単独事業
	決算額	13,754	11,463	0	0		経費区分	貸付金

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	7	1	2	701	中小企業資金等預託金	269,553	3,758
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	3,758

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1		
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	0

事業要員	正規職員	0.01
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	9
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
	成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒

取組内容 鯖江市企業立地促進条例および規則、要綱に基づき、金融機関と協調して鯖江市で製造業、ソフトウェア業等を新たに整備しようとする中小企業に低利子融資を行うことで、産業の活性化を図る。利用実績は少ないが、借入額も大きく、返済継続中の企業もあることから、残高預託を要することもあり維持とする。

来年度の実績 R4年度 新規立地企業による利用者なし

R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 新規立地事業者への資金繰りについては各メインバンクの融資制度を活用しているケースが多い。市場動向が不透明な中、今後の金利情勢を含めた対応が必要。

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 借入額も大きく、返済継続中の企業もあることから、事業継続する。

R6方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	中小企業信用保証料補給支援事業
R4年度 事業名	中小企業信用保証料補給支援事業

総合戦略 体系	122	魅力ある雇用の創出	既存産業の高度化	企業の経営基盤強化(再掲)
------------	-----	-----------	----------	---------------

PLAN (計画)	部署名	商工観光課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	中小企業者の融資利用時の負担を軽減し、経営の安定に資する。				
	概要	中小企業に対する融資を利用する際の負担を軽減するため、保証協会へ一括納入した信用保証料の一部を補給 ①中小企業振興資金：信用保証料の1/2相当額を補給 ※鯖江市ものづくり支援機構が実施するチャレンジ企業応援補助金の交付決定を受けた者については保証料全額を補給 ②小規模企業者特別資金：信用保証料全額補給 ③県経営安定資金（セーフティネット保証支援分）：信用保証料の1/3相当額を補給（補給限度額10万円）				
法令等 根拠		実施 形態	内容			
現在	市直営					

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	中小企業振興資金融資件数	件	目標値	20	20	20	20	20
			実績値	27	32	30		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	保証料補給実行率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
	計算 根拠	保証料補給実行数/保証料補給申請数	達成率	100	100	100		
			実数値	49/49	54/54	64/64		
		ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	13,700	8,500	5,660	6,945	6,000		事業タイプ	単独事業
	決算額	8,123	5,190	5,660	6,945			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	7	1	2	609	中小企業融資利子等補給事業費	22,300	6,000	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	6,000

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

行政が実施すべき事業か。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

住民等のニーズは増えているか。  
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)  
 増加する見込み  横ばい  減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
11	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)  
 節減できている  横ばい  増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

市民団体や事業者による業務委託しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

成果は目標を達成できているか。  
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)  
 目標を達成できている  進展している  目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒

取組内容 制度融資の利用状況は昨年度に比べ僅かに増加しているが、新型コロナウイルスや原油高などの影響により変動がある。引き続き、市内中小企業の資金需要の円滑化と経営健全化のために、金融機関と協調することにより、中小企業に低利融資を行うとともに、信用保証料補給を行うことにより、融資返済負担の軽減支援を行う。

来年度の実績 R4年度 予算額4,500千円であったが、64件、6,945千円の保証料補給を行った。

R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 特になし

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 金利負担の軽減を図り、事業の振興に資することで、産業商業の活性化を図る。

R6方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名

R6年度事業名

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	つつじまつり開催事業
R4年度 事業名	つつじまつり開催事業

総合戦略 体系	263	若者が住みたくなるまちの創造	地域資源を活かす観光の推進	街なか観光の推進
------------	-----	----------------	---------------	----------

PLAN (計画)	部署名	商工観光課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	日本海側唯一である約5万株(11種類)のつつじを誇る“日本の歴史公園百選 西山公園”を中心とした「つつじ」のイベントを開催し、県内外から観光客の定着を図るとともに、鯖江市の観光振興および地場産業の活性化に資する。				
	概要	つつじまつり実行委員会を組織し、西山公園のつつじを観光素材とした「つつじまつり」を5月のGWに開催する。開催にあたっては、西山公園のつつじを楽しむ場を創出し、鯖江市の観光誘客に向けた情報発信を行う。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	補助金等交付		商工会議所内につつじまつり実行委員会を設置し、商工会議所、観光協会および市が事務局として委員会に加入し、それぞれ負担金を支出して開催する。			

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	※設定困難		目標値					
			実績値					
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	つつじまつり来場者数	人	目標値	170,000	150,000	100,000	100,000	100,000
			実績値	-	-	74,000		
	計算 根拠	2018～ 会期期間 3日 2020～2021 中止	達成率	-	-	74		
			実数値					
		ランク	-	-	C			
前年度 ランク B、Cの 理由	コロナ禍で人流が抑制されていた。							

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	6,200	6,200	4,500	4,000	4,000		事業タイプ	単独事業
	決算額	6,200	698	1,470	4,000			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	7	1	3	204	つつじまつり開催事業費	4,065	4,000	
2								
3								
4								
5以降								
合計							4,000	

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.25
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

行政が実施すべき事業か。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

住民等のニーズは増えているか。  
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)  
 増加する見込み  横ばい  減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
10	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)  
 節減できている  横ばい  増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

成果は目標を達成できているか。  
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)  
 目標を達成できている  進展している  目標に向かっていない

ACTION

**今年度 R5方向性⇒** 事務改善(手段・サービス水準の見直し)

**取組内容** 昨年に引き続き予定どおり開催。商工会議所青年部のステージイベントやおもてなし会による案内テントなど内容が充実した。

---

**来年度へ向けて**

**R4年度の実績** 新型コロナウイルスの全国的な感染拡大が落ち着きつつあり、3年ぶりにつつじまつりを開催した。  
決算額4,003千円

**R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題**  
アフターコロナの状況を踏まえたイベントの必要性、イベントのあり方を検討すること。

**実績と課題を踏まえたR6年度の変更点**  
新型コロナウイルスの位置付けが5類に移行したことから人流がさらに回復し、賑わいが戻りつつある。コロナ前の賑わいを取り戻すため3日間の開催も視野にまつりの内容を検討していく。

**R6方向性⇒** 事務改善(手段・サービス水準の見直し)

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名 \_\_\_\_\_  
市民役事業にかかる額(単位千円): \_\_\_\_\_ 0

R6年度事業名 \_\_\_\_\_  
市民役事業にかかる額(単位千円): \_\_\_\_\_ 0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	観光協会補助事業
R4年度 事業名	観光協会補助事業

総合戦略 体系	263	若者が住みたくなるまちの創造	地域資源を活かす観光の推進	街なか観光の推進
------------	-----	----------------	---------------	----------

PLAN (計画)	部署名	商工観光課	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	まちなか観光、産業観光等、本市の特色ある観光振興を図る。				
	概要	鯖江観光協会の運営に補助する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	補助金等交付		観光施設の整備、観光協会の運営等に助成し、観光の振興に寄与する。			

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	※設定困難		目標値					
			実績値					
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	観光客入込数	人	目標値	1,800,000	1,800,000	1,800,000	1,800,000	1,800,000
			実績値	945,058	1,202,599	1,518,495		
	計算 根拠		達成率	52.5	66.8	84.4		
			実数値					
		ランク	C	C	B			
前年度 ランク B、Cの 理由	新型コロナウイルスの感染拡大で人流が抑制されていたため							

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	9,417	11,400	9,370	9,186	9,647		事業タイプ	単独事業
	決算額	9,417	11,400	9,370	9,186			経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	7	1	3	602	観光協会等補助金	9,647	9,647
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	9,647

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1		
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	0

事業要員	正規職員	
	会計年度職員	
	※所要時間	10

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計 点数	9
点数区分	0点～8点 9点～16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
	成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒	事務改善(手段・サービス水準の見直し)
取組内容	鯖江の産業観光や着地型旅行商品の開発のために、(一社)鯖江観光協会が行う事業について運営補助を行う。市内の観光情報を集約し、雑誌、WEB媒体等に対する情報発信を一手に担うことで、鯖江の観光窓口としての機能を強化する。また、InstagramなどSNSを活用した魅力発信事業に取り組み、「映える写真」を活用したポスターを制作し、PRするなど年間を通じた誘客を目指すとともに、土産物の販売売上上の拡大と収益性向上を目指し、組織の収益構造の強化に取り組む。	
来年度へ向けて	R4年度の実績	鯖江の産業観光やまちなか観光活性化のために、(一社)鯖江観光協会が行う事業について運営補助を行った。「さばえ匠の美技・旬の美食めぐり」の日帰りモニターツアーの実証実験に取り組んだ。
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	市内の観光情報を集約し、雑誌、WEB媒体等に対する情報発信を一手に担い、鯖江の観光窓口としての機能強化については、今以上に取り組む余地がある。SNSなどを活用した情報発信強化に取り組む。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	観光協会と協議のうえ、つつじまつりのみならず通年で西山公園に来た人が交通・食事・休憩の面で満足し、リピーターとなる取組みを検討する。また、観光窓口としての機能強化を目指すため、紙媒体だけに頼らず、SNSやWEBを活用した手法による主体的な情報発信の強化を図るとともに、組織としての収益構造の強化を目指し、不要な経費の削減と土産物販売や収益の増加に向け積極的に取り組むよう促していく。
	R6方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	勤労者育児・介護休業生活資金利子補給事業
R4年度 事業名	勤労者育児・介護休業生活資金利子補給事業

総合戦略 体系	143	魅力ある雇用の創出	女性が輝くまちの創造	ワーク・ライフ・バランスの推進
------------	-----	-----------	------------	-----------------

PLAN (計画)	部署名	商工観光課	開始年度	2006	終了年度	9999
	目的	育児・介護休業者の休業期間中の生活の安定と福祉の向上を図る。				
	概要	県の勤労者育児・介護休業生活資金融資利用者に対して、融資実行から5年間、利子全額を補給する。				
法令等 根拠		実施 形態	内容			
現在	市直営					

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	広報紙等への掲載	回	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	0	0		
	制度内容のチラシ配布	部	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	利子補給実行率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	-	-	-		
	計算 根拠	利子補給実行数/利子補給申請数	達成率	-	-	-		
			実数値	0/0	0/0	0/0		
			ランク	-	-	-		
	前年度 ランク B、Cの 理由							

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	20	20	100	100	50		事業タイプ	単独事業
	決算額	0	0	0	0			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	5	1	1	604	労働者等融資利子等補給事業費	100	50	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	50

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.01
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	
合計 点数	9
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) <input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	県の育児・介護休業生活資金利用者へ利子補給することで融資返済の負担を軽減し、育児・介護休業者の休業期間中の生活の安定と福祉の向上のため引き続き支援する。
来年度の実績	R4年度 県の育児・介護休業生活資金利用者が無かった。
R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	近年利用者はないものの、勤労者の生活安定のために必要な制度である。
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	多様な働き方の推進、女性活躍の推進を進めるうえで、必要な事業である。
R6方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	就職支援事業
R4年度 事業名	就職支援事業

総合戦略 体系	132	魅力ある雇用の創出	若者に魅力ある働く場の確保	若者の就労機会の確保
------------	-----	-----------	---------------	------------

PLAN (計画)	部署名	商工観光課	開始年度	2007	終了年度	9999
	目的	厳しい就業環境に直面している学生など求職中の若者に対し、希望する雇用に繋がるよう支援を行うとともに、地元高校生が地場産業を知り、地元での就職に繋がることを目的とする。				
	概要	就労関係機関と連携し、学生への合同企業説明会、求職中の若者への相談会実施。 地元高校生が、地場産業について理解できるよう、セミナーや企業訪問を実施。				
法令等 根拠		実施 形態	内容			
現在	民間等委託(全部)					

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	就職支援セミナー開催数(H24～25・市民主役)ハローワークサマー求人企業説明会	回	目標値	8	8	8	8	8
			実績値	-	4	4		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	就職応援事業への参加者数	人	目標値	760	760	760	760	760
			実績値	4,730	991	905		
	計算 根拠	就職支援セミナー参加者数(H24～25・市民主役)ハローワークサマー求人企業説明会	達成率	622.4	130.4	119.1		
			実数値					
		ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	85	85	80	80	65		事業タイ	単独事業
	決算額	27	0	37	34			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	5	1	1	202	就職支援事業費	65	65	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	65

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	11
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒	維持
取組内容	県内就労関連機関と連携しながら、各種セミナーや求人説明会等を実施する。求職中の市内学生や再就職を考えている人に対しては、就活応援セミナー等を開催し、市内高校生には、人手不足や後継者不足が進む中、地元企業への興味・関心を喚起するために、地元企業訪問等を開催する。また、県外学生の市内企業へのインターンシップを引き続き行い、鯖江での就職に繋がる取り組みを行う。	
来年度へ向けて	R4年度の実績	サマー求人企業説明会 参加者:724人 マザーズコーナーにて通年でマザーズセミナーを実施 参加者:52人 ふくい合同就職面接会 参加者:85人 ハローワークON Line 就職面接会 参加者:24人 地場産業後継者育成事業 参加者:鯖江高校IT・デザインコース学生20名
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	ハローワーク主催によるR4年度サマー求人企業説明会を実施。地場産業の市内企業の見学会などを通じて、市内企業の就職へ繋げる。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	インターンシップに協力できる市内企業の掘り起こしと、連携先を中心とした県内大学等への情報発信を実施
	R6方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名		市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名		市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	「めがねのまち鯖江」元気再生事業
R4年度 事業名	「めがねのまち鯖江」元気再生事業

総合戦略 体系	121	魅力ある雇用の創出	既存産業の高度化	地域産業の活性化
------------	-----	-----------	----------	----------

PLAN (計画)	部署名	商工観光課	開始年度	2010	終了年度	9999
	目的	鯖江市を中心とするものづくり産地「鯖江」は、世界最高峰の製造技術を持つ産地である一方、販売力に欠けることから、近年は、安価で大量生産を得意とする中国製品の台頭により、衰退の一途を辿っている。そこで、「作るだけの産地」から「作って売る産地」への転換によるOEM依存体質からの脱却、産業観光の促進による「楽しみ・愛される産地」の実現を目指した取り組みを行う。				
	概要	「作るだけの産地」から「作って売る産地」への転換によるOEM依存体質からの脱却、産業観光の促進による「楽しみ・愛される産地」の実現を目指した取り組みを行う。眼鏡産地の再生をテーマに平成20年度から国の支援を受け取り組んできた各種実証実験の検証結果を受け、眼鏡以外の市内産業も対象に広げ、効果が見られた内容について継続した事業展開を図る。 産地ブランド力向上に向けた取組支援（産地情報拡散・PR強化）				
	法令等 根拠	なし	実施 形態	内容		
現在	補助金等交付					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	関係者による協議会の開催		回	目標値	5	5	5	5	5
				実績値	5	5	-		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	デザイン力、マーケティング力強化のためのセミナー開催参加者数(2022年度まで)		人	目標値	250	250	250	250	250
				実績値	-	-	-		
	計算 根拠			達成率	-	-	-		
				実数値					
	協議会加盟団体と意見交換会(2023年度から)		回	目標値				3	3
				実績値			-		
	計算 根拠			達成率			-		
				実数値			-		
				ランク	-	-	-		
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	30,000	15,000	6,000	6,000	6,000		事業タイプ	交付金事業
	決算額	29,990	5,987	4,892	4,182			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	7	1	2	611	地方の元気再生事業費	6,000	6,000	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	6,000

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)	1,500
2		
3		
4		
5以降		
合計		1,500

事業要員	正規職員	1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	12
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止 維持または事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒ <b>事務改善(業務プロセスの改善)</b>
取組内容	市内企業の製品力・販売力の向上と「めがねのまちさばえ」としての産地ブランド確立を目的に、下記事業を継続発展させる。 ①産地ブランド力向上に向けた取組支援(「売れる商品」の試作・試験投入、企業ブランド力向上支援、産地情報拡散・PR強化) ②工房開放イベントRENEWによる商品力、経営力向上 ③産地PRサイト「さばえめがじん」による産地情報の発信 ④金融機関OBによる経営相談事業
来年度へ向けて	R4年度の実績 10月開催の産地工房開放イベント「RENEW」の企画運営の側面支援にも取り組むなど、産地鯖江のブランド化に向けた基盤確立に取り組んだ。さらに眼鏡産地情報発信サイトを活用し、めがねに対する魅力の認識向上を図った。また、併行して経営相談員による市内企業へのヒアリングおよび国県市の補助制度紹介なども行った。 R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 現状、市の負担金のみで事業を行っているため、協議会の構成団体が独自で事業費を捻出できる仕組みを構築する必要がある。 実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 市負担金にて協議会運営を行っているが、各構成団体独自の産地ブランド推進も含めた協議会の在り方について検討。 R6方向性⇒ <b>事務改善(業務プロセスの改善)</b> CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	さばえものづくり補助金
R4年度 事業名	さばえものづくり補助金

総合戦略 体系	111	魅力ある雇用の創出	地場産業の技術を活かした新産業の創造	企業の経営基盤強化
------------	-----	-----------	--------------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	商工観光課	開始年度	2011	終了年度	9999
	目的	企業が行う産地の活性化を目指す先見性のあるものづくり事業、それを支える人づくり事業や市場開拓事業を補助することを通じ、地場産業の振興に資する。				
	概要	市内の企業等が実施する事業に対して、下記のメニューに沿った補助金を支出する。(①地域産業人材育成支援事業、②地域産業組合等活力強化支援事業、③地域産業販路拡大支援事業、④産学官連携促進支援事業⑤海外市場販路開拓支援事業(H26～)、⑥デザインによるブランド育成支援事業⑦異分野見本市等出展支援事業⑧眼鏡直販ショップ開設促進事業⑨起業・創業促進支援事業⑩起業家(IT)等市内定住促進事業⑪市場調査支援事業(H27～)⑫創業スタートアップ支援事業⑬小規模製造業設備投資支援事業(H29～)⑭女性起業応援奨励金⑮女性活躍推進事業⑯身の丈IoT導入推進事業⑰未来の伝統工芸士育成支援事業⑱多様な働き方導入推進事業⑲チャレンジ企業応援補助金⑳成長分野新技術開発支援補助金㉑産地リーダー企業販路開拓支援事業㉒産地リーダー企業産学官連携推進事業				
	法令等 根拠	鯖江市商工政策課補助金要綱	実施 形態	内容		
現在	補助金等交付					

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	事業広報の実施	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	鯖江の頑張るリーダー企業支援事業の実績数	件	目標値	46	53	55	55	55
			実績値	36	62	112		
	計算 根拠	ものづくり補助金実績数2022年度から	達成率	78.2	117	203.6		
			実数値					
		ランク	C	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	30,100	50,200	44,780	43,600	40,000		事業タイプ	単独事業
	決算額	27,518	40,284	24,797	25,592			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	7	1	2	607	さばえものづくり補助金	40,120	40,000	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	40,000

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)	6,500
2		
3		
4		
5以降		
合計		6,500

事業要員	正規職員	1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

行政が実施すべき事業か。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

住民等のニーズは増えているか。  
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)  
 増加する見込み  横ばい  減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
12	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)  
 節減できている  横ばい  増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

成果は目標を達成できているか。  
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)  
 目標を達成できている  進展している  目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒

取組内容 海外販路開拓や異分野進出、人材育成、新製品販路開拓補助等、各種補助金を活用し、市内の頑張る企業を引き続き支援する。企業へのPRを強化し、制度を活用する企業を増やすことで、更なる産業振興を目指す。

来年度の実績 R4年度 112件、25,592千円の補助を行った。

R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題  
新型コロナの影響を鑑み、市内事業所の実情に対応した補助メニューへの見直しを実施。  
更なる市内事業所への周知を図る。

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点  
原材料・原油高に対して企業の利便性を高める補助事業へと見直しを検討する。

R6方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名

市民役事業にかかる額(単位千円):

R6年度事業名

市民役事業にかかる額(単位千円):

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	学生滞在型まちづくり活動支援事業		
R4年度 事業名	学生滞在型まちづくり活動支援事業		
総合戦略 体系	211	若者が住みたくなるまちの創造	若者の夢を応援するまち ～よそ者に寛大で多 様性があるまち～

PLAN (計画)	部署名	商工観光課	開始年度	2011	終了年度	9999
	目的	鯖江市に滞在し、まちづくりに関する調査・研究、スポーツ・学術研究等の合宿を行う学生のグループに対し、宿泊費の一部を助成し、潜在環境を整えることで、若い世代の呼び込みを図る。本市への滞在を通して地場産業や風土、人情に触れていただき、地域のPRを図るとともに、学生の若い感性による提案や提言を受け、まちづくりに生かしていく。				
	概要	鯖江市に滞在し、まちづくり等の調査、研究を行う学生のグループに対し、宿泊費の一部を助成する。 【提案型】まちづくりの研究を行い、市に対して提案、提言を行う。(1人泊あたり1,500円助成) 【合宿型】スポーツ・勉学等を行い、自己の体位・学力の向上に努める。(1人泊あたり1,000円助成) 【ゼミ合宿】ゼミにおいて研究テーマに本市に関する題材を取り上げる活動。(1人泊あたり1,500円助成)				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	民間等委託(一部)		市として県へ補助金申請を伴う業務も含まれており、民間へ全部を委託することは不可能である。しかし、学生募集等の業務については、民間委託も可能と考える。			

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	大学等への周知活動(HP掲載)回数		回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	補助制度活用学生数		人泊	目標値	100	300	200	200	300
				実績値	80	22	422		
	計算 根拠			達成率	80.0	7.3	211		
				実数値					
		ランク	B	C	A				
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	1,360	676	699	531	492		事業タイプ	補助(県)事業
	決算額	1,344	150	28	431			経費区分	補助費等

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	7	1	3	206	観光誘客事業費	63,378	492
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	492

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1	福井を学ぶ体験旅行推進事業補助金(宿泊@500/1人泊+地域)	272
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	272

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	12
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
	成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒	維持
取組内容	コロナ収束後に向けて、制度を県外の旅行会社や大学等へのチラシ送付、ホームページおよびfacebook等でPRを通して営業活動を行うことで、学生合宿の誘致を促進する。また、合宿補助の要件として、ブログやSNSを活用した鯖江市のPRを行うことを必須としており、積極的な情報発信を促す。また、改装が完了したラフォーゼかわたとの連携強化により、学生の合宿場所としての活用をPRし、交流人口増加を目指す。	
来年度へ向けて	R4年度の実績	新型コロナウイルスの影響が長期化しつつも、大学側のリアル授業再開など、通常の生活に戻りつつあったため、学生合宿も復調していき、昨年度を大きく上回る実績となった。補助利用した団体は6団体(422人泊)であった。
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	学生合宿の回復に伴い、予算を上回る利用希望があった。今後、新幹線開業などを見据え予算の確保が課題となる。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	コロナウイルス感染症終息後のスポーツ合宿やゼミ合宿、さらには少人数の教育旅行の誘致に向け、宿泊業者や旅行業者との更なる連携を図っていく。
	R6方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	大学連携事業
R4年度 事業名	大学連携事業

総合戦略 体系	111	魅力ある雇用の創出	地場産業の技術を活かした新産業の創造	企業の経営基盤強化
------------	-----	-----------	--------------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	商工観光課	開始年度	2012	終了年度	9999
	目的	学術機関等が有する知的資産を有効に活用した産学官連携事業を推進し、地域産業の発展に寄与する				
	概要	連携協定を締結している学術機関等と市内企業とのビジネスマッチングを推進し、新素材・新商品開発や既存産業のニューノーマルな社会への対応を促進するための啓発を実施する。				
法令等 根拠		実施 形態	内容			
現在	市直営					

活動指標								
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
※設定困難			目標値					
			実績値					
成果指標								
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
大学等との連携事業		事業数	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	3	2	2		
計算 根拠	福井大学i-CARAGE HUB 1件 福井工業大学企業交流会 1件		達成率	150	100	100		
			実数値					
			ランク	A	A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由								

DO  
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	537	700	200	200	200		事業タイ	単独事業
	決算額		84	0	78			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	7	1	2	608	小規模事業経営改善指導等補助金	8,200	200	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	200

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	
合計 点数	12
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) <input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	大学連携事業として、地域資源が抱える課題解決への大学シース活用をはじめとした各種連携事業を積極的に行う。
来年度の実績	R4年度 連携大学と地元企業との連携強化に向けシンポジウムや研究室紹介など交流機会を創出した。
R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	連携大学から鯖江市企業へ訪問する機会が減少している。
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	市内企業への訪問機会の創出。
R6方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	アイウェアデザイナー育成事業(産学官連携事業)
R4年度 事業名	アイウェアデザイナー育成事業(産学官連携事業)

総合戦略 体系	242	若者が住みたくなるまちの創造	ものづくり教育とふるさと学習の推進	ものづくりを核としたふるさと教育の推進
------------	-----	----------------	-------------------	---------------------

PLAN (計画)	部署名	商工観光課	開始年度	2015	終了年度	9999
	目的	アイウェアデザイン教育を受けた学生が将来鯖江の眼鏡会社にてデザイナーとして就業することを目的とする。				
	概要	京都精華大学デザイン学部にて、市内眼鏡企画商社デザイナーによる「アイウェアデザイン教育」が行われており、その受講学生を対象に鯖江の眼鏡企業・工場見学やインターンシップを実施し、地場産業の素晴らしさや本物を学ぶ中で、作品(アイウェア)を制作するとともに、市内眼鏡企業への就職に繋げる。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
	現在	その他				

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	鯖江市内工場見学		回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	-	-	1		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	参加学生数		人	目標値	12	12	12	12	12
				実績値	-	-	13		
	計算 根拠			達成率	-	-	108.3		
				実数値					
		ランク	-	-	A				
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	※ゼロ予算
	予算額	0	0	0	0	0		事業タイ	※ゼロ予算
	決算額	0	0	0	0	0		経費区分	※ゼロ予算

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1							
2							
3							
4							
5以降							
合計							0

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.01
	会計年度職員	
	※所要時間	40

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	10
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒	維持
取組内容	参加学生の人数についてはその年々で多少の差はあるものの、ツアー内容や日程などの取組み内容については、ほぼルーティン化されているおり、担当教諭陣も変更なく、円滑な事業遂行がなされている。本事業への参加をきっかけに鯖江市に移住し、産地内企業へ就業する学生も実際に出てきていることから、今後も継続して事業を行っていく必要性は高いと思われる。	
来年度へ向けて	R4年度の実績	2015年から京都精華大学との産学官連携事業の一つとしてスタートし、令和3年度は、コロナ禍により工場見学等の産地見学会実施は見送られたが、令和4年度については13名の学生が鯖江市内の企業を実際に見学した。
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	産地見学会の実施により、アイウェアデザイン授業の中で学生が制作する眼鏡の材料選びや、製造方法について積極的に質問をしており、実際に産地を見学を実施することに大きな意味がある。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	学生がデザインし、製作した眼鏡を鯖江市で展示することで、産学官連携事業を市民の方たちに広く周知する。
	R6方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	越前ものづくりの里プロジェクト事業
R4年度 事業名	越前ものづくりの里プロジェクト事業

総合戦略 体系	262	若者が住みたくなるまちの創造	地域資源を活かす観光の推進	広域観光の推進
------------	-----	----------------	---------------	---------

PLAN (計画)	部署名	商工観光課	開始年度	2015	終了年度	9999
	目的	福井県の伝統工芸(越前漆器、越前和紙、越前打刃物、越前焼、越前筆管)の各産地が丹南地域に集積している特色を活かし、産地が連携して職人の育成や産地の魅力向上に取り組むことにより、伝統的工芸品の知名度向上と需要拡大を図る。				
	概要	工芸分野に携わりたいと考える若者等が、高い技能に加え、魅力ある商品づくりのためのデザインや経営的な視点を学ぶことができる「職人塾」事業および産地連携による地域ブランド力を向上するため、「見せる」「売る」「広げる」の3つの戦略を展開する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	補助金等交付		越前ものづくりの里プロジェクト協議会への負担金 3,614,000円 伝統工芸職人塾補助金 17,952,000円(6月補正)			

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	育成する職人数		人	目標値	5	5	5	5	5
				実績値	6	3	7		
	計算 根拠			達成率	120	60	140		
				実数値					
			ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	12,119	21,565	18,956	21,565	22,214		事業タイプ	補助(県)事業
	決算額	11,178	18,471	10,544	20,596			経費区分	その他

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	7	1	2	203	地域産業振興事業費	94,256	22,214
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	22,214

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1	伝統工芸職人塾補助金(推進交付金)	6,619
	2	デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)	8,976
	3		
	4		
	5以降		
		合計	15,595

事業要員	正規職員	0.75
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)  増加する見込み  横ばい  減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)  ない  ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)  ない  ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
11	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)  節減できている  横ばい  増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)  向上している  横ばい  低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)  向上している  横ばい  低下している

市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない)  いる  いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)  いる  いない

成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)  目標を達成できている  進展している  目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒

取組内容 県が中心となり、丹南5産地の伝統工芸振興を行うもの。「長期職人塾」から市内企業への就職者も出ていることから継続して後継者対策として実施する。また、5産地連携によるRENEW参加など伝統工芸品の発信力強化、販売増、産地への誘客に向けた効果も出てきていることから引き続き事業展開する。さらに、「未来の伝統工芸士育成支援事業」補助金を令和2年度に新設し、同プロジェクト長期職人塾修了生の更なる高度な技術の習得を後押ししている。

来年度の実績 R4年度 長期職人塾7人の参加者

R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 職人塾のニーズはあり、産地企業でも受け入れ待ちの企業が数社ある。しかし、定数以上の希望者がおらず、十分な受講者数を確保できていない。産地連携事業については、産地間でも意見が分かれるため、協議の上見直しが必要。

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 職人塾の継続と産地連携事業の見直し

R6方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名

R6年度事業名

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	地域おこし協力隊による地域活性化推進事業
R4年度 事業名	地域おこし協力隊による地域活性化推進事業

総合戦略 体系	231	若者が住みたくなるまちの創造	河和田キャンパス(創造産地)の構築	河和田地区への移住・定住促進
------------	-----	----------------	-------------------	----------------

PLAN (計画)	部署名	商工観光課	開始年度	2016	終了年度	9999
	目的	鯖江市外の人材を活用し、地域の活性化に必要な施策を推進するとともに、鯖江市への定住および定着を促進する。				
	概要	鯖江市の東部に位置する河和田地区は、急激な人口減少と高齢化の傾向があり、河和田を取り巻く環境は年々厳しい状況となっている。そこで地域おこし協力隊が地域の方々と共に、さまざまなプロジェクトやイベントを企画運営しながら、眼鏡・漆器の地場産業の振興および「日本のふるさと」とも呼べる自然環境、歴史、文化、伝統を継承した河和田地区の活力再生、地域振興を図る取り組みを行う。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容 報償費1人@165,000×12月、活動費1人@2,000,000円/起業支援補助費1人@1,000,000		
現在	市直営					

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	※設定困難		目標値					
			実績値					
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	プロジェクト提案数	件	目標値	4	6	6	6	6
			実績値	4	9	11		
	計算 根拠	地域おこし協力隊1人2件ずつ	達成率	100	150	183.3		
			実数値					
		ランク	A	A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	11,940	8,009	11,940	11,940	15,920		事業タイプ	補助(国)事業
	決算額	11,940	7,960	11,605	11,940			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	7	1	2	203	地域産業振興事業費	94,256	15,920	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	15,920

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はいいいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。 (1はいいいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。 (1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
合計点数	判定
10	維持または事務改善

ACTION

今年度 R5方向性⇒	内容拡大
取組内容	地域おこし協力隊が地域のニーズに応えながら、地域の活性化に必要な施策に取組めるよう、隊員と定期的にミーティングを行い情報を共有する。地域おこし協力隊は、①ものづくり推進、古民家活用促進、関係人口構築事業、②「RENEW」産地の合説企画運営、移住および関係人口促進事業、③地域産業の課題解決に向けたデジタル化支援、経営支援、産業観光推進事業④中心市街地活性化の4名4事業で活動する。
来年度へ向けて R4年度の実績	令和4年度は3名の地域おこし協力隊により、1.独自活動による市内産業・企業・社会発展への支援 2.鯖江商工会議所との連携による市内産業・企業の支援 3.慶応大学大学院メディアデザイン研究科との連携による市内産業・企業の支援 4.通年型産業観光の促進 5.産地の採用支援 6.人材育成 7.移住促進 8.持続可能なものづくり支援 9.新しい経済圏の構築・拡大事業 10.交流観光拠点活用事業 11.観光事業の実行支援を行った。
R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	令和5年度は2名の地域おこし協力隊により①関係人口の拡大と地域住民との連携による観光資源磨き上げ事業、交流観光拠点活用事業②通年型産業観光の促進、人材育成、移住促進・採用支援、持続可能なものづくり支援を目的に活動。月1回の打合せにより各隊員の事業進捗を確認しつつ、2名が連携した事業展開を検討。
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	各地域おこし協力隊が担う業務について、月1回のミーティングを定例化し、各個人活動を連携させることでより効果的な活動へと事務改善に努める。
R6方向性⇒	維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	キッズ・カンパニー事業
R4年度 事業名	キッズ・カンパニー事業

総合戦略 体系	241	若者が住みたくなるまちの創造	ものづくり教育とふるさと学習の推進	IT教育の推進
------------	-----	----------------	-------------------	---------

PLAN (計画)	部署名	商工観光課	開始年度	2017	終了年度	9999
	目的	市内外の学生を対象に、起業・創業の体験を通じて、これからの時代に必要な「生きる力」を育み、「思考力、判断力、表現力」を養うことで、地域を担う人材育成を目指す。				
	概要	将来の地域を担う人材・起業家育成を目的に、鯖江商工会議所が実施する起業体験プログラムの実施を支援する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	補助金等交付		鯖江商工会議所への事業補助金			

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	チラシの配布数		枚	目標値	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
				実績値	-	1,600	3,600		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	キッズカンパニーの開催		回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	-	1	1		
	計算 根拠			達成率	-	100	100		
				実数値					
	キッズカンパニーの参加者数		人	目標値	7	7	25	25	25
				実績値	-	24	18		
	計算 根拠			達成率	-	342.9	72		
				実数値					
				ランク	-	A	C		
前年度 ランク B、Cの 理由	R4年度ではSDGsカードゲームの実施を予定していたが、コロナ禍でもあり、参加人数が定員に達しなかったため中止となり達成ランクもCとなった。								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	500	0	200	500	500		事業タイ	単独事業
	決算額	222	0	200	500	500		経費区分	その他

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	7	1	2	203	地域産業振興事業費	94,256	500	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	500

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.1
	会計年度職員	
	※所要時間	10

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	11
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	シミュレーションシステムを活用した仮想空間での起業体験プログラムに加え、SDGsカードゲームによるESG経営より実践的な起業体験プログラムを実施し、将来地域を担う人材育成を目指す。
来年度の実績	シミュレーションシステムを活用し、中・高・高専生を対象に仮想空間でのより実践的な起業体験プログラムを実施した。
R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	中・高・高専生を対象に、シミュレーションシステムを活用した仮想空間でのより実践的な起業体験プログラムを実施。加えて、SDGsの実現に向けた動きが世界的に広がっている中、ESG経営を学べるカードゲームを実施予定であったが参加人数が定員に達せず、中止とした。
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	特になし
R6方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	サテライトオフィス誘致事業
R4年度 事業名	サテライトオフィス誘致事業

総合戦略 体系	131	魅力ある雇用の創出	若者に魅力ある働く場の確保	企業立地の推進
------------	-----	-----------	---------------	---------

PLAN (計画)	部署名	商工観光課	開始年度	2017	終了年度	9999
	目的	総務省が実施する「お試しサテライトオフィス」モデル事業により、「サテライトオフィス」誘致戦略の策定等を行い、地域での経済循環を創造することを目的とする。				
	概要	認定地域再生計画「空き家利活用マッチングプロジェクト」を活用し、空き家を利活用したサテライトオフィス誘致戦略を策定する。 1 三大都市圏に所在する企業等に対する事前調査、ニーズ調査・分析を行い戦略に反映する 2 誘致候補企業に対する広報活動の展開、サテライトオフィス体験スペースの整備、説明会開催（東京・大阪）／執務環境体験ツアー				
	法令等 根拠		実施 形態	内 容	ホームページ作成、視察ツアー企画実施、都市部企業PRイベント、企業DB作成等を民間へ委託	
現在	民間等委託（一部）					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	セミナー開催		回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	0	1	1		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	誘致企業数		数	目標値	6	1	1	1	1
				実績値	7	0	1		
	計算 根拠	2020年度まで 累積値		達成率	116.7	0	100		
		2021年度から 新規誘致数		実数値					
			ランク	A	C	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額	2,500	1,500	1,700	1,700	1,181		事業タイ	受託事業
	決算額	1,471	778	249	745			経費区分	その他

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	7	1	2	207	サテライトオフィス誘致事業費	1,181	1,181	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	1,181

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	新しい働き方・暮らし方推進事業補助金	668
2		
3		
4		
5以降		
合計		668

事業要員	正規職員	0.5
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
合計点数	13
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R5方向性⇒	維持
取組内容	都市部のIT企業に向けた現地ツアーなどを引き続き実施することにより、更なる企業の誘致に結び付けることで、IT企業の集積を目指す。また、すでにサテライトオフィスを開設した企業をフォローアップし情報共有することで、雇用や働く環境整備などの充実に努める。
来年度の実績	12月にサテライトオフィス誘致ツアーをワーケーションコレクションイベントと連携して開催。
R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	R4年度については新型コロナウイルス感染症の影響も考慮しオンライン説明会および現地ツアー開催。R5は現地ツアーを拡大し積極的な誘致を図る。
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	新しい働き方に合わせ、ワーケーションも取り入れた企業参加型の事業を実施。
R6方向性⇒	維持
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民主役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	可能	可能	可能	可能	可能
実施状況	未実施	実施	実施	未実施	未実施

R5年度事業名	サテライトオフィス誘致事業
市民主役事業にかかる額(単位千円):	600

R6年度事業名	サテライトオフィス誘致事業
市民主役事業にかかる額(単位千円):	600

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	生産現場におけるIT技術の導入事業
R4年度 事業名	身の丈IoT導入推進事業

総合戦略 体系	121	魅力ある雇用の創出	既存産業の高度化	地域産業の活性化
------------	-----	-----------	----------	----------

PLAN (計画)	部署名	商工観光課	開始年度	2020	終了年度	9999
	目的	知識や情報の不足からくる心理的な障壁から、IT技術の導入に消極的な本市地場産業に、具体的な導入事例を創って業界内で共有することで、市内企業への導入に弾みをつけることを目的とする。				
	概要	福井工業高等専門学校との連携の中、先進事例の見学やモデル事例の創出により、本市地場産業を中心にIT技術の導入による生産性向上に向けた動機づけを図る。				
法令等 根拠		実施 形態	内容			
現在	民間等委託(全部)					

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	セミナー実施回数	回	目標値	2	2	2	2	-
			実績値	-	-	-		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	AI/IoT導入企業数	社	目標値	3	3	1	1	-
			実績値	-	1	1		
	計算 根拠	達成率		-	33.3	100		
		実数値						
		ランク	-	C	A			
前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額		1,000	1,000	1,500	1,200		事業タイプ	単独事業
	決算額		0	710	692			経費区分	物件費

No	款	項	目	事業	R5年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	7	1	2	204	産学官連携事業費	6,100	1,200	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	1,200

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)	600
2		
3		
4		
5以降		
合計		600

事業要員	正規職員	1
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
13	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input type="radio"/> 目標を達成できている <input checked="" type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒	維持
取組内容	地場産業の生産性・収益性の向上や競争力確保に向けたAI、IoT活用について、各事業所の身の丈に合ったIT技術導入について、福井高等専門学校と鯖江市繊維協会が連携して実施。	
来年度へ向けて	R4年度の実績	鯖江市繊維協会会員企業からモデル企業を選定し、先行的に実施。
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	鯖江市繊維協会会員企業からモデル企業への先行支援を実施中。今年度、システムを完成させ、横展開を図る。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	地場産業生産現場へのIT技術導入には継続的な事業が必要。
	R6方向性⇒	事務改善(他事業との連携・統合)
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	未来の伝統工芸士育成支援事業
R4年度 事業名	未来の伝統工芸士育成支援事業

総合戦略 体系	121	魅力ある雇用の創出	既存産業の高度化	地域産業の活性化
------------	-----	-----------	----------	----------

PLAN (計画)	部署名	商工観光課	開始年度	2020	終了年度	9999
	目的	伝統的工芸品産業の後継者を支援する一環として、市内で伝統工芸の職人を目指し、起業または就業する者に対し奨励金を交付。				
	概要	越前ものづくりの里プロジェクト伝統工芸職人塾(長期実習)の修了生(市民)を対象に200千円を交付。				
法令等 根拠		実施 形態	内容			
現在	補助金等交付					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	定着奨励金交付数		件	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	2	2	1		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	家賃補助を受けて市内で就業または起業した人数		人	目標値	2	2	1	1	1
				実績値	2	3	2		
	計算 根拠			達成率	100	150	200		
				実数値					
			ランク	A	A	A			
	前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額		1,220	800	1,600	1,380		事業タイプ	単独事業
	決算額		500	600	200			経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	7	1	2	607	さばえものづくり補助金	40,120	1,380	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	1,380

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.5
	会計年度職員	
	※所要時間	0

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
合計点数	10
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

ACTION

今年度 R5方向性⇒	維持
取組内容	伝統的工芸品産業の後継者を支援する一環として、越前ものづくりの里プロジェクト伝統工芸職人塾(長期実習)を修了し、市内で伝統工芸の職人を目指し、起業または就業する者を対象に奨励金を交付
来年度へ向けて	R4年度実績 奨励金交付対象1件
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 越前ものづくりの里プロジェクト伝統工芸職人塾(長期実習)の修了生を対象に交付
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 伝統的工芸品産業の後継者育成を継続的に支援する必要あり
R6方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
---------	-------------------	---

R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
---------	-------------------	---

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	ライブ映像による観光情報発信事業
R4年度 事業名	ライブ映像による観光情報発信事業

総合戦略 体系	262	若者が住みたくなるまちの創造	地域資源を活かす観光の推進	広域観光の推進
------------	-----	----------------	---------------	---------

PLAN (計画)	部署名	商工観光課	開始年度	2021	終了年度	9999
	目的	四季を通した西山公園などの最新ライブ映像を市ホームページ等で配信することにより、観光客に情報・魅力を効率的に提供し、西山公園等への誘客に繋げる。				
	概要	丹南ケーブルテレビ株式会社がサパエ・シティーホテル屋上に設置する360度カメラで撮影する映像を活用し、ストリーミングエンコーダー（信号変換・画像分配、ライブ配信機能）で加工した動画を、観光情報サイト「さばかん」やつつじまつり公式ホームページ等でライブ配信する。				
法令等 根拠		実施 形態	内容			映像を配信するための初期機材を購入するとともに、映像提供費としてインターネット回線使用料を市が支払う
現在	市直営					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	市ホームページにおけるライブ映像配信		回	目標値		1	1	1	1
				実績値		2	2		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	観光専用サイト「さばかん」閲覧ページ数		件	目標値		850,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
				実績値		1,222,852	1,264,863		
	計算 根拠			達成率		143.9	126.5		
				実数値					
			ランク		A	A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額			198	66	66		事業タイプ	単独事業
	決算額			198	66			経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	7	1	3	201	観光事務諸経費	810	66
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	66

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1		
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	0

事業要員	正規職員	0.02
	会計年度職員	0
	※所要時間	

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ			
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ			
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み			
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある			
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある			
合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
10	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または事務改善	

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
	成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) <input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	ライブ映像を観光ホームページで配信することで、季節折々の西山公園の風景や、西山公園の混雑状況などを配信。公園利用者に向けた情報の提供、利便性向上に繋げる。
来年度へ向けて	R4年度の実績 ライブ映像を観光ホームページで配信することで、季節折々の西山公園の風景を自宅で楽しむことができたほか、西山公園の混雑状況など把握することができ、ホームページの閲覧数の増加につながった。
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 つつじまつり開催にあたり、混雑状況が把握できるよう、まつりのホームページから観光ホームページに飛ばしたが、どの程度混雑が解消されたか不明だった。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 つつじまつりのほか、観光ホームページへの掲載以外の活用方法を検討する。
	R6方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択		不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況		未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	海外で売れる商品開発支援事業
R4年度 事業名	海外で売れる商品の開発支援事業

総合戦略 体系	121	魅力ある雇用の創出	既存産業の高度化	地域産業の活性化
------------	-----	-----------	----------	----------

PLAN (計画)	部署名	商工観光課	開始年度	2021	終了年度	9999
	目的	越前漆器の海外に通用する商品開発において、ブランド力の向上およびSDGsに沿った商品開発は必要不可欠であるため、産地内の経営者、職人にSDGsの重要性を認知してもらい、それを踏まえ専門家指導のもと、国内外を視野に商品開発を行う。				
	概要	越前漆器協同組合とジエトロ福井が連携し、欧州市場を視野に入れた市場調査を実施することで、新商品の磨き上げを行う。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	民間等委託(全部)		越前漆器協同組合への委託事業であり、事業内容は産地内のSDGs理解促進および海外にも通用する新商品開発			

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	事業プロモーション、情報発信		回	目標値		3	3	3	3
				実績値		3	3		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	新製品開発数		型	目標値		3	3	3	3
				実績値		6	3		
	計算 根拠			達成率		200	100		
				実数値					
		ランク		A	A				
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額			5,000	3,000	3,000		事業タイ	交付金事業
	決算額			5,000	3,000			経費区分	その他

No	款	項	目	事業	R5年度事業名		予算書額	うち事業額(千円)
1	7	1	2	203	地域産業振興事業費		94,256	3,000
2								
3								
4								
5以降								
							合計	3,000

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.2
	会計年度職員	
	※所要時間	

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。 (1はい・0いいえ) <input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	
行政が実施すべき事業か。 (1はい・0いいえ) <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	
住民等のニーズは増えているか。 (2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み) <input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み	
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。 (1ない・0ある) <input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある	
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。 (1ない・0ある) <input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある	
合計 点数	11
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の 目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している) <input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) <input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。 (2向上している・1横ばい・0低下している) <input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。 (1いる・0いない) <input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。 (1いる・0いない) <input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。 (2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない) <input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	海外向け試作品により、アジア中心での市場調査を実施予定
来年度へ向けて	R4年度実績 オランダアムステルダムにて年間を通して商品PRを実施した。 12月にはNihon no Hangatにて展示会を開催し、5日間で約300人の来場者が訪れた。
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 オランダでの活動を踏まえた商品開発や、これまでの実績を踏まえたアジア等への販売可能性を探る必要がある。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 ヨーロッパでの市場調査継続に加え、台湾の展示会出展により新たな販路開拓事業を実施
	R6方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択		不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況		未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度 事業名	
	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>
R6年度 事業名	
	市民役事業にかかる額(単位千円): <input type="text" value="0"/>

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	さばえの産業PR事業
R4年度 事業名	さばえの産業PR事業

総合戦略 体系	261	若者が住みたくなるまちの創造	地域資源を活かす観光の推進	産業観光の充実
------------	-----	----------------	---------------	---------

PLAN (計画)	部署名	商工観光課	開始年度	2021	終了年度	9999
	目的	鯖江商工会議所がウイズ・ポストコロナ時代における市内事業所の販路開拓支援事業を実施するにあたり、鯖江市として負担金を支出する。				
	概要	コロナ禍により様々な事業活動において、オンラインの活用が急速に進展。販路拡大においてもオンライン展示会をはじめとし、動画プロモーションスキルが必要とされることから、実地を含めたモデル企業への支援プロセスを公開することで、産地全体の底上げに繋げる。(2021年度まで) 「デザイン」「ビジネス」「テクノロジー」の3軸による販路開拓に向けた立体的支援の提供に基づき市内眼鏡・繊維・漆器関連企業が出展するバーチャルモールを構築し販路開拓に繋げる。(2022年度以降)				
	法令等 根拠		実施 形態	内容 商工会議所内に実行委員会を設置し負担金として支出。		
	現在	補助金等交付				

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	動画作成数(2021年度まで)			目標値		5			
				実績値		6			
	計算 根拠			達成率		120			
				実数値					
	バーチャルモール出展企業(2022年度以降)			目標値			30	30	30
				実績値			39		
	計算 根拠			達成率			130		
				実数値					
				ランク		A	A		
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額			3,000	3,000	3,000		事業タイプ	単独事業
	決算額			3,000	3,000			経費区分	物件費

No	款	項	目	事業	R5年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	7	1	2	603	さばえの産業PR事業費	3,000	3,000	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	3,000

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.05
	会計年度職員	
	※所要時間	0

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	9
点数区分	0点~8点
次年度方向性の目安	事務改善または廃止・休止
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒	事務改善(業務プロセスの改善)
取組内容	「デザイン」「ビジネス」「テクノロジー」の3軸による販路開拓に向けた立体的支援の提供に基づき市内眼鏡・繊維・漆器関連企業が出展するバーチャルモールを充実し販路開拓に繋げる。	
来年度へ向けて	R4年度の実績	「デザイン」「ビジネス」「テクノロジー」の3軸による販路開拓に向けた立体的支援の提供に基づき市内眼鏡・繊維・漆器関連企業が出展するバーチャルモールを構築し販路開拓に繋げた。
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	事業内容を一新し、アフターコロナを見据えた産業PRの手法として、集中的に販路開拓の支援を行う。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	地元産業界が抱える課題を意識した販路開拓支援事業を展開
	R6方向性⇒	事務改善(業務プロセスの改善)
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択		不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況		未実施	未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	子育て世代応援企業認定事業
R4年度 事業名	子育て世代応援企業認定事業

総合戦略 体系	132	魅力ある雇用の創出	若者に魅力ある働く場の確保	若者の就労機会の確保
------------	-----	-----------	---------------	------------

PLAN (計画)	部署名	商工観光課	開始年度	2022	終了年度	9999
	目的	子育てと仕事が両立できる職場環境づくりを積極的に行っている市内企業を認定し、育てやすい暮らしやすいまちづくりを推進する。また、市内企業のイメージアップを図ることで市内産業の活性化につなげる。				
	概要	<p>●子育てと仕事が両立できる職場環境づくりを積極的に行っている市内企業の認定。                  効果:市内企業のイメージアップと子育て世代応援企業を取得した企業に努める社員の満足度・モチベーションアップにつながる。                  ○認定企業にインセンティブを付与することにより、市内企業が自ら「育てやすい暮らしやすいまちづくり」を推進することで、その地域の波及効果また、市民力のアップにつながる。</p> <p>●子育て世代応援企業に認定された企業に県外から移住し就職する者への奨励金                  効果:県外からの優秀な人材確保が有利になる。また、移住者増につなげる。</p>				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
	現在	補助金等交付				

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
		事業広報回数	回	目標値			3	3	3
				実績値			3		
		成果指標							
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
		認定企業数	社	目標値			10	10	10
				実績値			10		
		計算 根拠		達成率			100		
				実数値					
			ランク			A			
	前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額				6,800	2,400		事業タイプ	単独事業
	決算額				999			経費区分	補助費等

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	7	1	2	203	地域産業振興事業費	94,256	2,400	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	2,400

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.08
	会計年度職員	0
	※所要時間	

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	11
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	認定企業を増やすため、告知を増やしていく。
来年度へ向けて	R4年度の実績 認定企業:10社 子育て世代応援企業移住就業奨励金:3名
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 認定企業、移住奨励金ともに件数増加のために広報をより行う必要がある。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 ホームページでの企業紹介について、企業がどのような取組を行っているかの紹介も併せて行う。
	R6方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択			不可能	不可能	不可能
実施状況			未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	チームさばえ出展販路開拓支援事業
R4年度 事業名	チームさばえ出展販路開拓支援事業

総合戦略 体系	121	魅力ある雇用の創出	既存産業の高度化	地域産業の活性化
------------	-----	-----------	----------	----------

PLAN (計画)	部署名	商工観光課	開始年度	2022	終了年度	2024
	目的	関西機械要素技術展にて、さばえのものづくり技術に欠かせない金型、金属加工、表面処理の技術力を集結させたチームさばえブースを出展し、めがねのまちさばえのブランド力向上と出展企業の異分野進出と販路拡大の新たなビジネスシーンを構築する。				
	概要	さばえのものづくりに欠かせない金型、金属加工、表面処理の技術力を中心に、世界に誇る鯖江技術を関西機械要素技術展において、共同ブースを出展し、個社の販路拡大と新たなビジネスシーンの構築、さらには「めがねのまちさばえ」のブランド発信とブランド力向上を目指す。				
法令等 根拠		実施 形態	内容			
現在	民間等委託(一部)					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	チームさばえ出展販路開拓支援事業申請企業数		者	目標値			8	16	16
				実績値			8		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	ブース来場者数		人	目標値			400	800	800
				実績値			573		
	計算 根拠	各企業名刺交換件数の合計 1社あたり50件の名刺交換を目標とする		達成率			143.3		
				実数値					
			ランク			A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額				12,376	25,000		事業タイ	交付金事業
	決算額				12,376			経費区分	物件費

No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	7	1	2	203	地域産業振興事業費	94,256	25,000	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	25,000

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	出展料	600
2	デジタル田園都市国家構想交付金	12,500
3		
4		
5以降		
合計		13,100

事業要員	正規職員	0.34
	会計年度職員	0
	※所要時間	

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input type="radio"/> 増加する見込み <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある
合計点数	11
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input type="radio"/> いる <input checked="" type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒	内容拡大
取組内容	R4年度に出展した関西機械要素技術展に加え、R5年度では東京ビッグサイトで行われる機械要素技術展にも出展する。	
来年度へ向けて	R4年度の実績	第25回関西機械要素技術展に市内企業8者と共同出展 名刺交換件数は合計で573件 決算額は12,894千円
	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	展示ブースに会場される方は多いが、鯖江市のPRに繋げることができていない。
	実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	鯖江の技術紹介をHPや動画などの素材を活用してPRすることで、めがねのまちさばえの技術力を発信する。
	R6方向性⇒	維持
	CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択			不可能	不可能	不可能
実施状況			未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	さばえものづくりビジネスマッチング支援事業
R4年度 事業名	さばえものづくりビジネスマッチング支援事業

総合戦略 体系	121	魅力ある雇用の創出	既存産業の高度化	地域産業の活性化
------------	-----	-----------	----------	----------

PLAN (計画)	部署名	商工観光課	開始年度	2022	終了年度	9999
	目的	ものづくりに強い都市部企業のネットワークを活用し、市内企業の技術力を全国に発信し、新たな販路開拓を支援する。				
	概要	ものづくりに強いビジネスマッチングサイト等を展開する都市部企業との連携し、市内企業3社をモデル企業として選定し、新たなビジネスパートナーの掘り起こしを支援する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	民間等委託(一部)					

DO (実施)	活動指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
		指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	面談件数		件	目標値			3	3	3
				実績値			6		
	計算 根拠	支援企業が面談を実施した企業数	達成率			200			
			実数値						
			ランク			A			
	前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額				7,140	7,700		事業タイプ	交付金事業
	決算額				7,139			経費区分	物件費

No	款	項	目	事業	R5年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	7	1	2	203	地域産業振興事業費	94,256	7,700	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	7,700

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)	3,850
2		
3		
4		
5以降		
合計		3,850

事業要員	正規職員	0.34
	会計年度職員	0
	※所要時間	

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

行政が実施すべき事業か。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

住民等のニーズは増えているか。  
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)  
 増加する見込み  横ばい  減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
13	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または 事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)  
 節減できている  横ばい  増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

成果は目標を達成できているか。  
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)  
 目標を達成できている  進展している  目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒

取組内容 鯖江市内の企業3社を選定し、大手企業との面談をマッチングする。

---

来年度の実績 R4年度の鯖江市の企業が持つ3件の技術について6社との面談に繋がった。

R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題  
本事業への申請件数が少なかった。

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点  
事業の広報活動強化

R6方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択			不可能	不可能	不可能
実施状況			未実施	未実施	未実施

R5年度事業名

市民役事業にかかる額(単位千円):

R6年度事業名

市民役事業にかかる額(単位千円):

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	さばえビジネスプレゼン塾開催事業
R4年度 事業名	プロモーション能力向上セミナー事業

総合戦略 体系	121	魅力ある雇用の創出	既存産業の高度化	地域産業の活性化
------------	-----	-----------	----------	----------

PLAN (計画)	部署名	商工観光課	開始年度	2022	終了年度	9999
	目的	市内企業の持つ技術や製品、サービスを効果的に伝える実践的能力向上を支援する。				
	概要	鯖江商工会議所との連携のもと、年間を通じて(10回シリーズにより開催予定)、市内企業のプロモーション能力向上を目的にセミナー等を開催する。				
	法令等 根拠		実施 形態	内容		
現在	民間等委託(全部)					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	ビジネスプレゼン塾の開催			目標値			10	10	10
				実績値			10		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	ビジネスプレゼン塾の受講者		人	目標値			150	180	180
				実績値			169		
	計算 根拠			達成率			112.7		
				実数値					
			ランク				A		
	前年度 ランク B、Cの 理由								

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額				1,800	1,600		事業タイプ	交付金事業
	決算額				1,500			経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
	1	7	1	2	203	地域産業振興事業費		94,256	1,600
2									
3									
4									
5以降									
								合計	1,600

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1	デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)	800
2			
3			
4			
5以降			
		合計	800

事業要員	正規職員	0.04
	会計年度職員	0
	※所要時間	

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	12
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input type="radio"/> 節減できている <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input type="radio"/> 向上している <input checked="" type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒	維持
取組内容	著名なプレゼンテーションクリエイターを招致し、ビジネス層に向けたビジネスプレゼンテーションの勉強会を開催する。	
来年度へ向けて	R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 各回異なるゲスト講師を招き、多様な方面からビジネスプレゼンテーションを学ぶことで、市内企業のプロモーション能力向上に寄与した。	
R4年度の実績	全10回のビジネスプレゼンテーションに関する勉強会を開催し、169人の参加者に向け市内企業のプロモーション能力の向上を図った。	
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	特になし	
R6方向性⇒	維持	
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由		

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択			不可能	不可能	不可能
実施状況			未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
---------	-------------------	---

R6年度事業名	市民役事業にかかる額(単位千円):	0
---------	-------------------	---

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	女性起業家育成事業
R4年度 事業名	女性起業家育成事業

総合戦略 体系	141	魅力ある雇用の創出	女性が輝くまちの創造	創業等の支援(再掲)
------------	-----	-----------	------------	------------

PLAN (計画)	部署名	商工観光課	開始年度	2022	終了年度	9999
	目的	人口減の重要課題である若い女性の流出防止と、女性起業家(スタートアップ)の育成を通して、女性の起業家精神の養成を図り、鯖江市での女性起業家の拡大とことを目的とコミュニティの形成を目指す。				
	概要	北陸先端科学技術大学院大学と鯖江商工会議所、鯖江市との3者連携により、女性起業家の経営スキル向上に向け、起業体験や専門家の指導を通してビジネスの仕組みや企業の基本を身に付けるプログラム実施。				
	法令等 根拠 現在		実施 形態	内容		

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	セミナーの開催回数		回	目標値			4	4	4
				実績値			4		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	参加者数		人	目標値			10	10	10
				実績値			10		
	計算 根拠	うち卒業要件充足者10人、他出席者6人		達成率			100		
				実数値					
			ランク			A			
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額				2,000	2,000		事業タイプ	交付金事業
	決算額				2,000			経費区分	物件費

歳出予算	No	款	項	目	事業	R5年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
	1	7	1	2	204	産学官連携事業費	6,100	2,000
	2							
	3							
	4							
	5以降							
							合計	2,000

補助金等	No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
	1	デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)	1,000
	2		
	3		
	4		
	5以降		
		合計	1,000

事業要員	正規職員	0.17
	会計年度職員	0
	※所要時間	

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)	<input checked="" type="radio"/> 増加する見込み <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 減少する見込み
国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="radio"/> ある
合計点数	15
点数区分	0点~8点 9点~16点
次年度方向性の目安	事務改善または 廃止・休止 維持または 事務改善
判定	維持または事務改善

効率性	改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)	<input checked="" type="radio"/> 節減できている <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 増加している
	デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)	<input checked="" type="radio"/> 向上している <input type="radio"/> 横ばい <input type="radio"/> 低下している
	市民団体や事業者に業務委託しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
有効性	財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="radio"/> いない
	成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)	<input checked="" type="radio"/> 目標を達成できている <input type="radio"/> 進展している <input type="radio"/> 目標に向かっていない

ACTION

今年度	R5方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	女性起業家や女性ビジネスマンを支援するための体験型セミナー「鯖江メリオア」を開催。
来年度の実績	R4年度 卒業要件充足者10人、他出席者6人
R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題	定員20人の枠で卒業要件充足者が10人であったため、R5年度は申請件数が枠を超えるように引き続き広報活動に努めていく。
実績と課題を踏まえたR6年度の変更点	特になし
R6方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>
CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由	

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択			不可能	不可能	不可能
実施状況			未実施	未実施	未実施

R5年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

R6年度事業名	
市民役事業にかかる額(単位千円):	0

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	観光イベント開催事業
R4年度 事業名	観光イベント開催事業

総合戦略 体系	263	若者が住みたくなるまちの創造	地域資源を活かす観光の推進	街なか観光の推進
------------	-----	----------------	---------------	----------

PLAN (計画)	部署名	商工観光課	開始年度	2022	終了年度	9999
	目的	新型コロナウイルス感染症の拡大で外出自粛などを起因としたイベントの規模縮小や開催中止などが相次いでおり、イベント自体の集客力の落ち込み、客足が遠のいている。そこで、感染対策や新しい生活様式に対応したイベントを開催することで、集客力の回復、市民のイベントに対する活動意欲の向上を図る。				
	概要	アフターコロナにおいて安全・安心に楽しんでいただくイベントを開催する。				
法令等 根拠		実施 形態	内容			
現在	民間等委託(一部)					

DO (実施)	活動指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	打合せ回数	回	目標値			5	5	5
			実績値			5		
	成果指標							
	指標名	単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	イベント来場者数	人	目標値			100	150	200
			実績値			100		
	計算 根拠	癒しフェス11月2日～3日	達成率			100		
			実数値					
			ランク			A		
	前年度 ランク B、Cの 理由							

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額				330	350		事業タイ	単独事業
	決算額				223			経費区分	物件費

No	款	項	目	事業	R5年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	7	1	3	206	観光誘客事業費	63,378	350	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	350

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

事業要員	正規職員	0.08
	会計年度職員	0
	※所要時間	

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

行政が実施すべき事業か。  
(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

住民等のニーズは増えているか。  
(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)  
 増加する見込み  横ばい  減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。  
(1ない・0ある)  ない  ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
10	0点~8点	事務改善または廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	維持または事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)  
 節減できている  横ばい  増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。  
(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

市民団体や事業者に業務委託しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。  
(1いる・0いない)  いる  いない

成果は目標を達成できているか。  
(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)  
 目標を達成できている  進展している  目標に向かっていない

ACTION

今年度 R5方向性⇒

取組内容 地域おこし協力隊の企画によるまちなか観光イベントを開催する。

---

来年度の実績 R4年度 地域おこし協力隊が企画、主導で「いやしフェス」を開催した。音楽ライブや飲食、ワークショップを提供した。

R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題 音楽ライブによる騒音と来場者の駐車場の確保が課題となる。R5は場所や時間を考慮しまちなかで開催する。

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点 地域おこし協力隊員だけでなく、市民や観光客を巻き込んだイベントとしていきたい。

R6方向性⇒

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択			不可能	不可能	可能
実施状況			未実施	未実施	未実施

R5年度事業名

R6年度事業名 観光イベント開催事業  
市民役事業にかかる額(単位千円): 300

取組可能な事業の詳細⇒

R5年度 事業名	西山公園イルミネーション事業
R4年度 事業名	西山公園イルミネーション事業

総合戦略 体系	263	若者が住みたくなるまちの創造	地域資源を活かす観光の推進	街なか観光の推進
------------	-----	----------------	---------------	----------

PLAN (計画)	部署名	商工観光課	開始年度	2022	終了年度	9999
	目的	西山公園でイルミネーションを実行し、鯖江のシンボル公園である西山公園の魅力高め、イルミネーションを活用した様々な事業展開を図り、街なか観光の推進を図る。				
	概要	西山公園のイルミネーションを活用し、街なかと連携した事業をする。				
法令等 根拠		実施 形態	内容			
現在	民間等委託(一部)					

DO (実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	打合せ回数			目標値			3	3	3
				実績値			3		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	2020	2021	2022	2023	2024
	イベント回数			目標値			1	1	1
				実績値			1		
	計算 根拠			達成率			100		
				実数値					
		ランク			A				
前年度 ランク B、Cの 理由									

【単位:千円】

事業費	区分	2019	2020	2021	2022	2023	タイプ	会計	一般会計
	予算額				4,000	2,400		事業タイプ	補助(県)事業
	決算額				4,000			経費区分	物件費

No	款	項	目	事業	R5年度事業名			
					予算書額	うち事業額(千円)		
1	7	1	3	206	観光誘客事業費	63,378	2,400	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	2,400

No	R5年度補助金等名称	金額(千円)
1	夜間観光促進事業費補助金(県1/2)	1,000
2		
3		
4		
5以降		
合計		1,000

事業要員	正規職員	0.08
	会計年度職員	0
	※所要時間	

DO(実施)

CHECK(評価)

法令等により実施することが義務付けられているか。(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

行政が実施すべき事業か。(1はい・0いいえ)  はい  いいえ

住民等のニーズは増えているか。(2増加する見込み・1横ばい・0減少する見込み)  
 増加する見込み  横ばい  減少する見込み

国・県または民間のサービスと競合している事業があるか。(1ない・0ある)  ない  ある

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業があるか。(1ない・0ある)  ない  ある

合計点数	点数区分	次年度方向性の目安	判定
10	0点~8点	事務改善または 廃止・休止	維持または事務改善
	9点~16点	事務改善	

改善を行い、コストの削減を図っているのか。(2節減できている・1横ばい・0増加している)  
 節減できている  横ばい  増加している

デジタル技術を活用するなど業務効率は向上しているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

業務プロセス(進め方・手続き)の向上を図っているのか。(2向上している・1横ばい・0低下している)  
 向上している  横ばい  低下している

市民団体や事業者による業務委託しているか。(1いる・0いない)  いる  いない

財源(補助金等、受益者負担など)を確保しているか。(1いる・0いない)  いる  いない

成果は目標を達成できているか。(2目標を達成できている・1進展している・0目標に向かっていない)  
 目標を達成できている  進展している  目標に向かっていない

ACTION

**今年度 R5方向性⇒** 事務改善(民間委託の導入・拡大)

**取組内容** 実行委員会形式で実施することで、市民団体等の傘下を促す。

---

**来年度へ向けて**

R4年度の実績 令和4年10月30日~令和4年12月25日の間、西山公園にてイルミネーションを実施。また、期間中11月23日にクリスマスマーケットを開催。決算額 4,360千円

R4年度実績とR5年度の経過を踏まえた課題  
 イベントの時期が他クリスマスマーケットと比べ早いことや、冬季には類似イベントが多数開催されているから、集客の向上のためにはクリスマスに拘らず、年間を通して適切なタイミングを見極め開催する必要がある。

実績と課題を踏まえたR6年度の変更点  
 実施方法や実施時期の見直し

**R6方向性⇒** 事務改善(他事業との連携・統合)

CHECK(次年度方向性の目安)とR6年度方向性が異なる場合には、その理由

【提案型市民役事業実施】

年度	2020	2021	2022	2023	2024
取組選択			不可能	不可能	不可能
実施状況			未実施	未実施	未実施

R5年度事業名

市民役事業にかかる額(単位千円): 0

---

R6年度事業名

市民役事業にかかる額(単位千円): 0

取組可能な事業の詳細⇒